

群 教 セ	G09 - 04
	平25.249集
	小・外国語

生き生きと思いを伝え合う児童の育成

— 小学校外国語活動に

「なかよしスイッチ ON!」を取り入れた交流活動を通して —

長期研修員 天田 由美子

キーワード 【外国語活動 思い 伝え合う 交流活動 コミュニケーション】

I 主題設定の理由

現在児童を取り巻く生活環境、とりわけインターネットなどの普及により、会話によるコミュニケーション不足が問題となっている。コミュニケーション能力とは、様々な人間が同じ話題で気持ちや考えを交流させ、互いを認め合い、円滑な人間関係を形成する能力であると考えられる。学校教育の場でそれを育成していくためには、様々な教科・領域で友達とかかわりがもてる活動を意図的に行うことが重要であると思われる。

小学校学習指導要領解説・外国語活動編では、「外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養うこと」を目標としている。そして、コミュニケーションを体験させる際には不慣れな外国語を補うものとして、「言葉によらないコミュニケーション手段もコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、ジェスチャーなどを取り上げ、その役割を理解させるようにすること」と示されている。これは、「はばたく群馬の指導プラン」で目指している「相手の思いを理解しようとしたり積極的に自分の思いを伝えようとしたりして、思いを伝える大切さを実感する児童」を育成することにつながっている。

協力校5年生への実態調査によれば、約65%の児童は外国語活動を楽しんでいると感じているが、残りの35%は「英語が話せないから」「英語を聞いても分からないから」という理由で「楽しくない」と答えている。人とかかわりを通して相互理解に結び付ける活動ではなく、英語が分かる、話せるということに比重が置かれた活動が中心であった結果であろうと考える。また、言葉を補うための「言葉によらないコミュニケーション手段を工夫すること」は「できない」と答えた児童が39%で、理由としては「やり方が分からない」「意識していないから忘れる」「やろうと思ってもむずかしくてできない」「自分だけが表現するのは恥ずかしい」が挙げられた。これらから、英語が分からない、言葉によらないコミュニケーション手段も思うように使えない、という点で、自分の伝えたい思いを表現するには至らない児童がいることが分かった。一人一人が生き生きと楽しく活動できるようにするためには、交流活動を通してコミュニケーション手段そのものに慣れ、伝え合う体験を積み上げることが必要であると考えられる。

本研究では、小学校外国語活動において、言葉とそれを補う、言葉によらないコミュニケーション手段を使って活動する楽しさを感じ、生き生きと自分の思いを伝え合うことができる児童を育成したいと考えた。そこで、既習の英語表現や英語で相手をほめる・励ます言葉、ジェスチャー、表情など、自分の思いを分かりやすく相手に伝えたり、相手の思いをくみ取ろうと聞いたりする手段を児童自ら選択して使う「なかよしスイッチ ON!」を取り入れた交流活動を行っていくこととした。一人一人が相手に分かりやすく伝えたり、相手が気持ちよく話せるように聞いたりすることは、安心して自分を表現できる温かい人間関係を構築していく上で大変重要であると考えられる。

以上のことから、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度をはぐくみ、生き生きと思いを伝え合う児童が育成できると考え、本主題を設定した。

II 研究のねらい

小学校外国語活動において、生き生きと思いを伝え合う児童を育成するために、「なかよしスイッチ ON!」を取り入れた交流活動を行うことの有効性を明らかにする。

Ⅲ 研究の見通し

1 意欲をもつ

「つかむ」過程において、あいさつや今日の気分を伝え合う「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を取り入れることにより、言葉によらないコミュニケーション手段の大切さに気づき、それらを意識して使いながら、友達とかかわっていこうという意欲をもつことができるであろう。

2 楽しさを感じる

「慣れる」過程において、ゲームの中で成功体験を積み上げる「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を取り入れることにより、友達と会話をする楽しさを感じるができるであろう。

3 思いを伝え合う

「広げる」過程において、伝えたい思いを表現する「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を取り入れることにより、生き生きと自分の思いを伝え合うことができるであろう。

Ⅳ 研究内容の概要

本研究は、小学校外国語活動において、自分の思いを生き生きと伝え合う児童の育成を目指すものである。簡単な英語表現とそれを補う言葉によらないコミュニケーション手段を工夫して思いや考えを伝え合う交流活動を、主たる手だてとした。

まず、コミュニケーションを円滑に図るための手だてとして、簡単な英語表現だけでなく、それを補う言葉によらないコミュニケーション手段も重要であると児童に認識させる。それらを「なかよしスイッチ」とし、自ら選択して意識して使い、自分の思いを相手に分かりやすく伝えようと話したり、相手の思いをくみ取ろうと聞いたりする意識の状態をもつことを「ON」することと考えた。

小学校第5学年での二単元の実践授業で、各過程の交流活動に「なかよしスイッチ ON!」を取り入れることにより、それを意識して友達とかかわろうという意欲をもち、友達と会話をする楽しさを感じ、生き生きと思いを伝え合うことができる児童の育成が図れることを明らかにした。

Ⅴ 研究のまとめ

1 成果

- 「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を各過程に取り入れることで、一人一人が自分で選んだコミュニケーション手段を用いて、自分の思いをより相手に分かりやすく伝えることや、「聞いてもらってうれしかった」と相手を感じられるように聞くことができた。
- 単元の最後に児童自身が「伝えたい」「聞きたい」思いがもてるような交流活動を行うことにより、人とかわかって伝え合う楽しさや、相手と分かり合える喜びを感じる事ができた。
- 相手の思いをくみ取ろうと聞く聞き方を通して、安心して自分を表現できる人間関係が作られ、一人一人が自信と思いやりをもって、人とかわかれるようになった。

2 課題

- 一人一人が自分の思いをさらに豊かに表現するために、毎時間、意図的に、言葉と言葉によらないコミュニケーション手段を意識して使う経験をさせ、その単元の中心となる活動につながるよう、単元を構成する。
- 第6学年では、既習の英語表現が増えてくるのにもない、英語を聞いたり話したりすることが苦手と感じている児童にとっては心理的負担も大きくなると考えられる。そのような児童も言葉によらないコミュニケーション手段を活用しながら、段階的に使える語彙・表現が増え、英語を使って相手と伝え合う楽しさが感じられるような活動を、意図的に設定し継続していく。

VI 研究の内容

1 生き生きと思いを伝え合う児童の育成について

(1) 「生き生きと」について

個々の児童には、控えめ、恥ずかしがり屋、元気がある、発言が活発など、それぞれに個性があり、思いを伝え合うことをねらう授業では、反応のよい児童、たくさん手を挙げて積極的に発言する児童が活躍しがちである。本研究では、積極的に友達と関われる児童も、友達が話しやすいように聞くことがなかなかできない児童も、いつもより勇気をもって友達に話しかけたり、友達の目を見てうなずきながら話を聞いたりするなど、一人一人がいつもとは違う自分を意識して活動し、達成感や満足感を感じた状態を「生き生きと」ととらえる。

(2) 「思いを伝え合う」について

本研究での「思いを伝え合う」とは、話したい、聞いてあげたい、好き、やってみたいなどの感情を英語や言葉以外のコミュニケーション手段を使って、相手に表現することであると考える。

児童は「英語で上手に話したい」「英語で自分のことを伝えたい」「友達の言いたいことを聞いてあげたい」「友達と仲良く活動したい」などの思いをもって活動している。しかし、英語だけでこれらを実現するのは難しい。そこで、英語だけではなくなかなか伝え合うことが難しい感情や考えを、言葉によらないコミュニケーション手段を使うことで、補う。このことを意識化し、話す側は聞く側の反応を見ながら相手が分かるようにジェスチャーや表情で伝えたり、聞く側は「分かった」「分からない」「ありがとう」の意思表示をジェスチャーやうなずきなどを使って相手に伝えたりしていることが、思いを伝え合っている姿ととらえる。

2 「なかよしスイッチ ON!」を取り入れた交流活動について

(1) 「なかよしスイッチ ON!」について

図1のように「なかよしスイッチ」とは、自分の思いを伝え合うためのスイッチである。具体的には、既習の英語表現、英語で相手をほめたり励ましたりする「なかよし言葉」(図2)、言葉を補うコミュニケーション手段であるジェスチャー、表情、うなずきなどである。「こう伝えたい」「こう聞きたい」を考えて、自分で選び意識して使うこと、これが「ON!」である。

「なかよしスイッチ ON!」とは、自分の思いを伝え合うためには、コミュニケーション手段を工夫していくことが必要であることを認識し、「なかよしスイッチ」の中から自分で選んで使って交流していこうという意識をもって、聞く側に分かりやすく伝えたり、話す側の思いに気持ちを向けて聞いたりする状態のことである。なかよしスイッチは一人一人の心の中にあり、ONするスイッチは児童によって違う。また、活動によってスイッチも変わってくる。児童自らスイッチをONにすることで、自分の思いを伝え合うことができ、いつもより上手に人とかかわれるようになる。「ON」の時の児童の姿を、図1のようにとらえる。

本研究で重視したコミュニケーション手段と

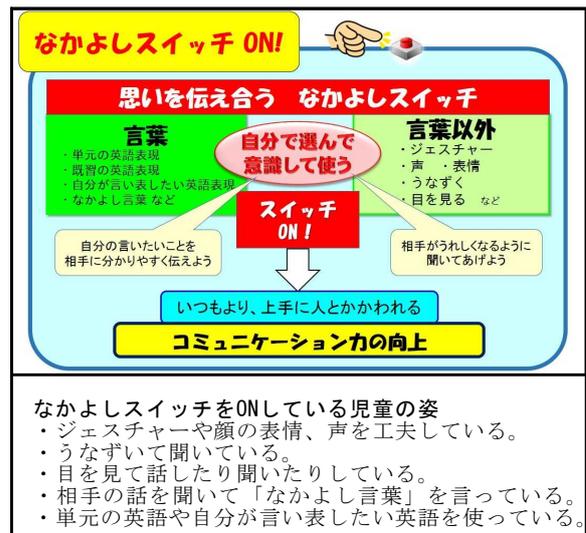


図1 「なかよしスイッチ ON!」の説明

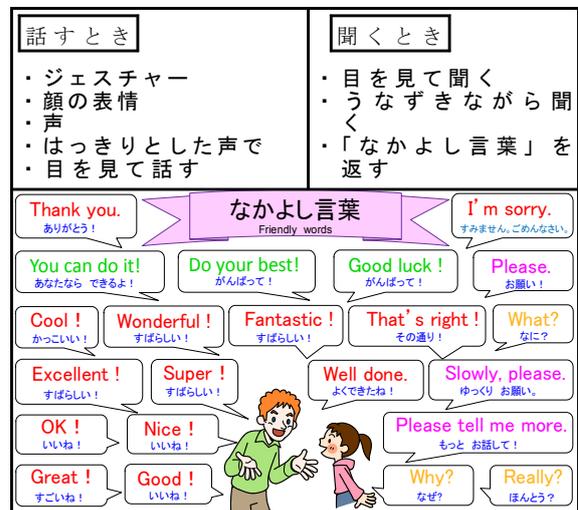


図2 本研究で重視したコミュニケーション手段

英語で相手をほめたり励ましたりする「なかよし言葉」を3頁図2にまとめた。自分の思いや考えを分かりやすく伝えたり、相手の思いを受け止めたりする手段として、言葉や言葉によらないコミュニケーション手段を取り入れていく。

(2) 交流活動について

5頁の研究構想図のように、あいさつの中で様々なコミュニケーション手段（「なかよしスイッチ」）の面白さや大切さに気付き、交流への意欲を高め、友達と交流する中でそれらを使う経験を積み重ね、「なかよしスイッチ ON!」の活動の楽しさを感じる。そして、自分の思いを伝え合う中で、話す側も聞く側も相手に伝えるための「なかよしスイッチ」を選び、気持ちを込めて使っていく。このように、「なかよしスイッチ」を意識して使いながら、相手に伝わる、相手のことが分かる成功体験を積み上げられるような交流活動が必要であると考え。そして、このような活動から、「なかよしスイッチ ON!」で自分の思いを伝え合うことができ、コミュニケーションを図る楽しさや難しさ、気持ちを込めて表現する大切さ、気持ちのよさを実感することができ、伝え合うことの喜びを感じることに繋がると考える。

3 先行研究の成果と課題より

松川(2011)は自身の研究を通して、つなぎ言葉を使うことが相手への理解が深まり、聞き手の話を聞く態度を積極的なものにする上で有効であったとしている。しかし、課題として伝え合い活動の充実、非言語コミュニケーションを取り入れた学習指導が挙げられていることから、本研究では、自分の思いをより相手に分かりやすく伝えたり、気持ちを合わせて聞くために、英語表現と言葉を補うための言葉によらないコミュニケーション手段を意識して使って交流する「なかよしスイッチ ON!」を取り入れることとした。これによって、伝え合い活動が充実すると考える。

4 研究協力校の児童の事前調査より

協力校第5学年7月の実態調査によると、外国語活動への意識は図3のとおりである。37%の児童は「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えており、理由の多くは「英語が分からないから」である。英語は児童にとって親しみやすい言葉ではないことが分かる。また、「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えている63%の児童のうちの90%は、「友達と交流するのが楽しい」と答えており、交流の楽しさは外国語活動の楽しさと一致することが分かった。

また、コミュニケーションにかかわる実態調査では、児童は言葉によらないコミュニケーション手段をあまり使っていないことが分かった。特にジェスチャー、表情、声を工夫することについては「やり方がわからない」「意識してやったことがない」「やろうと思っても難しくてできない」「自分だけ表現するのは恥ずかしい」と答えている。言葉だけでは伝えきれない部分を補うのに言葉によらないコミュニケーション手段が必要だと感じる経験も、実際に使う経験も少ないことが分かった。

このようなことから、自分の思いや考えを伝え合う児童を育成するためには、言葉によらないコミュニケーション手段のやり方の見本を分かりやすく提示し、それを使って交流する意識をもたせ、実際に使って楽しく交流する経験を積み重ねて、「伝えることができた」「相手に伝わった」「相手のことが分かった」経験をさせることが必要であると考え。

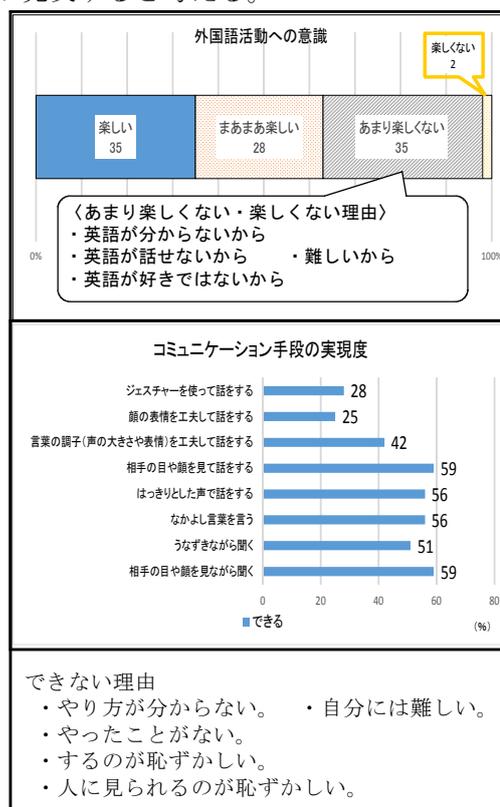
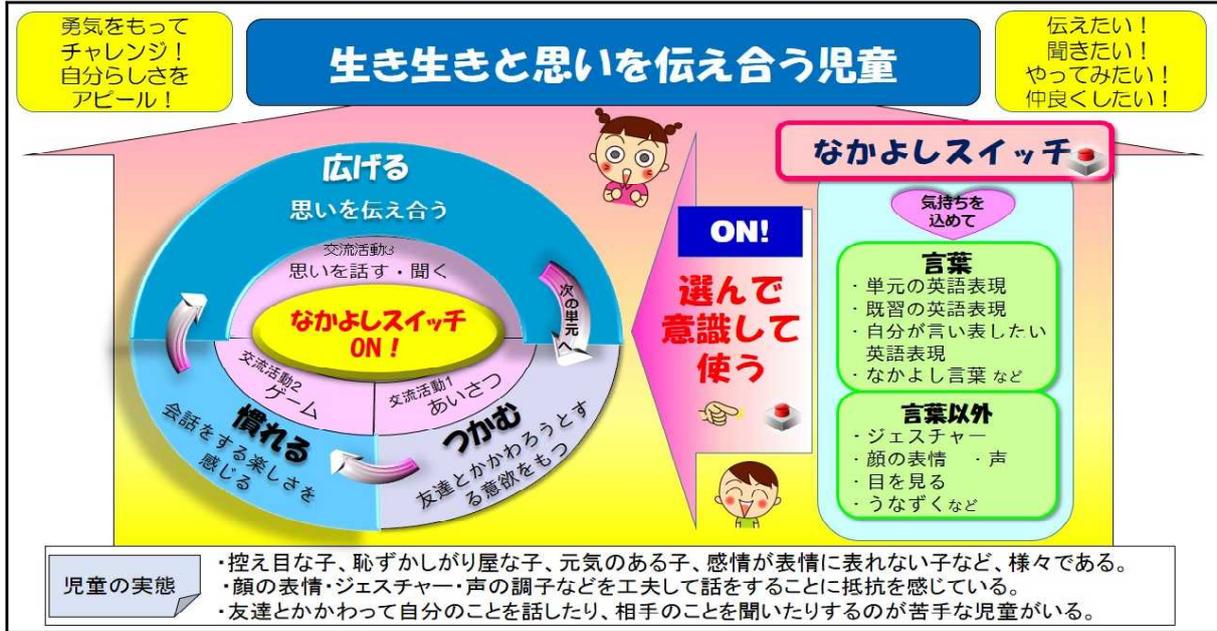


図3 事前調査（7月）

5 研究構想図



VII 研究の計画と方法

1 実践計画

対象	研究協力校 小学校第5学年 37名	
実践期間	9月5日～9月26日	10月3日～11月1日
単元名	実践1 友達ともっとなかよくなるよう(全4時間) (Hi, friends! 1 Lesson 5)	実践2 あったらいいな!夢の時間割!!(全5時間) (Hi, friends! 1 Lesson 8)

2 抽出児童

A	仲のよい友達とはかかわりをもつが、自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりすることは好きではない。「なかよしスイッチ ON!」で、人とかかわる楽しさを感じさせたい。
B	人とかかわるのは好きであるが、自分のことを相手に伝えるのは苦手と感じている。様々な「なかよしスイッチ」に慣れ、ONして交流する中で、自分の思いを伝える楽しさ、伝わる喜びを感じ取らせたい。

3 検証計画

検証項目	検証の視点	検証の方法
見通し1	あいさつや今日の気分を伝え合う「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を取り入れることは、言葉によらないコミュニケーション手段の大切さに気づき、それらを意識して使いながら、友達とかかわっていこうという意欲をもつ上で有効であったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケート ・活動の観察 ・授業記録ビデオ ・ワークシートの記述 ・交流活動の感想の発表 ・振り返りカード ・事後アンケート
見通し2	ゲームの中で成功体験を積み上げる「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を取り入れることは、友達と会話をする楽しさを感じる上で有効であったか。	
見通し3	伝えたい思いを表現する「なかよしスイッチ ON!」の交流活動を取り入れることは、一人一人が生き生きと思いを伝え合う上で有効であったか。	

4 単元の目標及び評価規準

<実践1>

単元	友達ともっとなかよくなるよう (Hi, friends! 1 Lesson 5)
目標	様々なコミュニケーション手段を工夫して、好きなもの(色や形、スポーツなど)を尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動を通して、一人一人が人とかかわって思いを伝え合い、喜びを感じることができる。
言語材料	What ~ do you like? I like ~. Why? Because ~. Here you are. Thank you. スポーツ、食べ物、動物、色、形 など、なかよし言葉(Good, Excellent, What? Wow! など)

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語・文化に関する気付き
単元の評価規準	様々なコミュニケーション手段を使って、好きなものやその理由について、気持ちを込めて伝え合おうとしている。	好きなもの（色や形、動物、食べ物など）は何かを尋ねたり答えたりしている。	日本語と外国語の音の共通点や相違点に気付いている。

<実践2>

単元	あったらいいな!夢の時間割!! (Hi, friends!1 Lesson 8)		
目標	様々なコミュニケーション方法を工夫して、「夢の時間割」の教科や学習してみたい理由、その授業でがんばりたいこと、今後に生かすことなどを伝え合う活動を通して、一人一人が人とかかわって思いを伝え合う喜びを感じることができる。		
言語材料	What do you study? I study (教科) on (曜日). special subject, Why? Because~. I like ~. 曜日の英語表現 教科の英語表現 なかよし言葉(Good, Excellent, What? Wow!など)		
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語・文化に関する気付き
単元の評価規準	自分から進んで友達とかかわり、様々なコミュニケーション手段を使って時間割を伝え合おうとしている。	曜日や教科の英語表現を使って、時間割を聞いたり言ったり、また尋ねたりしている。	外国の教科や学校生活に興味をもち、日本との共通点や違いに気付いている。

2 指導計画

<実践1>友達ともっとなかよくなるよう (Hi, friends!1 Lesson 5) (全4時間)

時	第1時	第2時	第3時	第4時
活動	<p>「なかよしスイッチ」ONとOFFのあいさつのモデルを見る</p> <p>交流活動① 「なかよしスイッチ」ONとOFFであいさつ</p> <p>言葉によらないコミュニケーション手段のよさ、大切さに気付く</p> <p>見通し1</p> <p>交流活動② シークレットカードゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の英語表現 ジェスチャー 	<p>【Warm up】「なかよしスイッチ ON!」であいさつをする</p> <p>見通し2</p> <p>交流活動③ どんな気持ち? クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の英語表現 ジェスチャー 声 顔の表情 <p>交流活動⑤ インタビュー カードゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の英語表現 ジェスチャー 		<p>交流活動⑦ Tシャツ当てゲーム Part 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の英語表現 単元の英語表現 ジェスチャー 声
	<p>交流活動④ Tシャツ当てゲーム Part 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が言い表したい英語表現 ジェスチャー 声 <p>見通し3</p> <p>思いを伝え合う交流活動⑧ 友達の好みのTシャツをデザインしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が言い表したい英語表現 自分が選んだコミュニケーション手段 			
使用する英語	What do you like? I like ~.	What ~ do you like? I like ~.		自分で言い表したい英語表現
		形・色の英語表現		
		なかよし言葉 (good, excellentなど)		
		既習の英語表現 (果物、スポーツ、動物など)		
	How are you? I'm sleepy/hungry/happy.など Why?			

<実践2> あったらいいな！夢の時間割!! (Hi, friends!1 Lesson8) (全5時間)

時	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時
活動内容	<p>相手の思いを聞くための工夫を考える</p> <p>目を見て聞く、うなずきながら聞く、「なかよし言葉」を言う</p> <p>交流活動① 「なかよしスイッチ ON!」であいさつ</p> <p>見通し1</p>	<p>【Warm up】 「なかよしスイッチ ON!」であいさつをする subject song (歌詞は自作)、曜日の歌を歌う</p>			
	<p>交流活動② 好きな教科を伝えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の英語表現 目を見る うなずく <p>見通し2</p>	<p>交流活動③④⑤ Missing ゲーム 伝言 ゲーム Card交換 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の英語表現 ジェスチャー 	<p>交流活動⑦ Card交換ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の英語表現 目を見る うなずく 	<p>交流活動⑨ 3 ヒントクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の英語表現 単元の英語表現 ジェスチャー 	<p>交流のめあてとなる「なかよしスイッチ」を決める</p> <p>思いを伝え合う交流活動⑪ 夢の時間割を伝え合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考えた方法で伝える。 メッセージ交換
使用する英語	<p>自分で言い表したい英語表現</p> <p>What do you study on (曜日)? I study (教科) on (曜日).</p> <p>曜日を表す英語表現</p> <p>教科を表す英語表現 (Japanese, math, music, など)</p> <p>なかよし言葉</p> <p>既習の英語表現 (I like ~. What? など)</p> <p>How are you? I'm sleepy/hungry/happy. など Why?</p>				
	<p>交流活動⑥ 教科ジェスチャーゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の英語表現 目を見る うなずく ジェスチャー 	<p>思いを伝え合う交流活動⑧ 時間割を伝えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の英語表現 目を見る うなずく ジェスチャー 	<p>思いを伝え合う交流活動⑩ 夢の教科やその理由、伝え方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢の教科を考える 相手に分かりやすい伝え方を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が言い表したい英語表現 自分が選んだ言葉によらないコミュニケーション手段 <p>見通し3</p>	

Ⅷ 実践の結果と考察

一人一人が生き生きと思いを伝えることができるようになるために「なかよしスイッチ ON!」を取り入れて交流活動を行ったことの有効性について、「友達ともっとなかよくなるよう」「あったらいいな！夢の時間割!!」の二単元で実践授業を行った結果と考察について以下に示す。

1 意欲をもつことについて

(1) 学習活動の概略と児童の様子

実践1では「自分のことを伝える」を目標に、話す工夫に重点をおいて活動を行った。

第1時の始めに、今日の気分やその理由を伝え合うあいさつにおいて「なかよしスイッチ」をONにした状態と、OFFにした状態のALTとHRTによるモデルを見て違いを話し合った。そして、これから行っていく「なかよしスイッチ ON!」について理解し、実際に児童自身が一人一人の「なかよしスイッチ」を決め、ONとOFFで会話を行った。この二つの活動から、「なかよしスイッチ ON!」のよさ、大切さが分かり、再度「なかよしスイッチ ON!」で自分の気分を伝え合う活動を行う際には、図4上段のように相手によってジェスチャーを変えたり、顔の表情、声の調子、「なかよし

言葉」を自分なりに工夫して使ったりして、交流していた。

実践2では、相手が「話してよかった」「聞いてもらってよかった」と感じられるように、「目や顔を見て聞く」「うなずきながら聞く」「なかよし言葉を返す」など、「気持ちを合わせて聞く」三つのポイントを示して、気分を伝え合う活動を行った。ほとんどの児童が実践1から慣れ親しんでいるジェスチャーを使い、さらに、図4下段のように首をたてに「うんうん」とうなずきながら相手の話を聞いていた。

人とかかわるのが好きではない抽出児童Aは、実践1ではALTとHRTによるモデルの中から「ジェスチャー」を工夫していることに気付き、「ジェスチャー」と「顔の表情」を工夫して交流した。実践2では、「相手の目を見る」を意識して交流し、積極的に友達に「なかよし言葉」を言うことができた。

抽出児童Bは、ALTとHRTによるモデルから、「うなずいている」「目を合わせている」ことに気付き、実践1では、両手を挙げて元気な声で「I'm happy.」と言い、実践2では積極的に何人にも話しかけ、ジェスチャーを加えたり相手の目を見たりして交流することができた。



図4 今日気分を伝え合う交流活動の様子(上段:実践1、下段:実践2)

(2) 全体の考察

事後の振り返りでは全員の児童が「なかよしスイッチ ON!」で交流することは大切だと答えていた。その理由として、ALTとHRTのモデルを見ることや実際に自分の気分を伝え合う活動において、ONとOFFの伝わり方の違いを認識し、言葉によらないコミュニケーションの大切さが実感できたからだと考える。

ALTとHRTの「なかよしスイッチ」ONとOFFのモデルからは、「おなかがすいている時は手をおなかにあてる」「眠そうな顔をしている」「元気がない声で話している」など「言葉だけよりも相手に様子や気持ちが伝わっている」ことを感じる事ができた。また、実際に「なかよしスイッチ」ONとOFFでジェスチャーや顔の表情を工夫して会話をを行ったことで、「ONの方が伝えたいことが伝わる」「相手に分かりやすくなる」などを実感したことが、図5からわかる。

図6の実態調査を見ると、実践授業前は「進んで交流している」「まあまあしている」の児童が76%であったが、実践1、2の第1時後は98%と、大幅に増えたことが分かる。また、児童の感想から、「なかよしスイッチ ON!」のよさを感じていることや、これからはなかよしスイッチをONして友達と交流したいという意欲をもっていることが読み取れた。

このように、自分の気分を伝え合う交流活動において、ALTとHRTによるモデルや、児童自身のONとOFFの会話から、交流時の「なかよしスイッチ ON!」の大切さに気付き、「なかよしスイッチ ON!」で交流しようという意欲をもつことができたと言える。

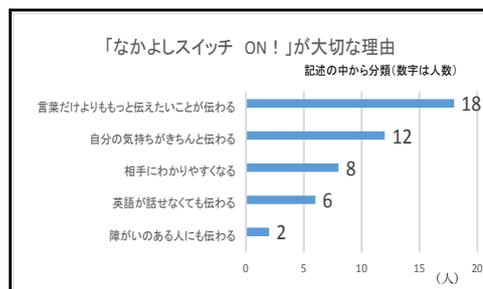
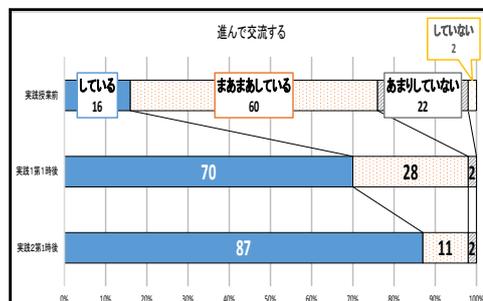


図5 「なかよしスイッチ ON!」の大切さの意識



- ・ジェスチャーができなかったので、次はジェスチャーを付けてしっかりやろう。
- ・なかよし言葉をたくさん覚えられたので、これからはなかよし言葉を覚えて友達に言ってみよう。
- ・いろいろなスイッチをONして友達とたくさん話したことが楽しかった。
- ・ジェスチャーを使って楽しみながら相手のことも知れたので、「なかよしスイッチ ON!」はとてもいいと思った。

図6 交流する意欲の変化と感想

ジェスチャーをすると、相手に気持ちを伝えやすいから、「なかよしスイッチ ON!」して交流するのは大切だと思う。ジェスチャーはやってみたら楽しかった。

なかよし言葉は言えてよかったけど、もっとうなずきながら話を聞ければよかった。次の時間はやりたい。

図7 抽出児童Aの感想(上段:実践1、下段:実践2)

(3) 抽出児童の考察

抽出児童Aは実践1の感想（8頁図7）から、「なかよしスイッチ ON!」のよさを、相手に気持ちを伝えやすくなるとらえていることが分かった。また、実際に会話をしてきたことで、ジェスチャーの楽しさに気付いたと言える。さらに実践2の「もっとうなずきながら話を聞ければよかった」「次の時間はやりたい」という記述から、次時への課題と意欲をもったことが分かる。

抽出児童Bは事前調査で「顔の表情やジェスチャーなどを工夫して交流することや、自分のことを話すのは苦手」と答えていた。しかし図8の実践1の感想の中で、「ジェスチャーを使うと伝えることが伝えやすくなる」と書いていることや、自己評価の中で「ジェスチャーがよくできた」と答えていること、実践2の感想に「積極的に友達と話をし、なかよし言葉が言えた」と書いていることから、「なかよしスイッチ ON!」を意識して、意欲的に活動していたことが分かる。

ジェスチャーなどを使うと、伝えることが伝えやすくなるから大切だと思う。ジェスチャーや声を工夫して話ができ、次は話を聞くとともにジェスチャーを使いたい。

今日は積極的になかよし言葉が言え、相手の目を見ることができたので、今度の英語の時も、続けていきたいです。

図8 抽出児童Bの感想（上段：実践1、下段：実践2）

2 楽しさを感じることに

(1) 学習活動の概略と児童の様子

事前調査において、「できないから」「やり方が分からないから」という理由で「ジェスチャーや顔の表情を工夫して交流することが楽しくない」と40%の児童が答えていたことから、様々なコミュニケーション手段を分かりやすく提示し、できる・伝わる成功経験をさせることで、「楽しさを感じる」ようになると考えた。そこで「慣れる」過程では、様々な「なかよしスイッチ」をONして活動するゲームでの交流活動を多く設定した。

実践1、2の各活動の始めにはALTとHRTのまねをしながら様々な「なかよしスイッチ」をONできるようにモデルを提示した。

実践1では、色や形の英語表現や相手に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション手段（ジェスチャー、顔の表情、目を見て聞くなど）を「なかよしスイッチ」とし、それをONして、友達と交流できるようなゲーム活動を行った。

友達や指導者からの評価を励みに意欲的に交流活動に取り組めるように、図9のような「なかよしスイッチ おしてみようカード」を活用した。児童はシールの貼られたこのカードを見て、本時の感想や次時の自分のめあてにつなげていた。

第2時の「どんな気持ち？クイズ」は、声や顔の表情の工夫、第3時の「インタビューゲーム」は、自分が友達に尋ねてみたいことを表す英語表現を使って交流した。どちらの活動も自分の伝えたいことを伝えるためにジェスチャーや声、顔の表情、「なかよし言葉」などをスイッチONして、笑顔で活動していた。

第4時の「Tシャツ当てゲーム」では好きな色や形、動物やスポーツを聞いて、相手の選んだTシャツを当てる活動を行った。図10は、その時の児童の様子である。インタビューに答える児童は英語表現、ジェスチャー、鳴き声などで自分がどのTシャツが好きかを相手に伝え、またインタビューした児童は、正解すると元気よく手を挙げたり、友達と握手したりして喜びを表現していた。

実践2では、「ジェスチャー」「なかよし言葉」「目を見る」「うなずく」などを活動のめあて（「なかよしスイッチ」）にして、それらに慣れ親しむようなゲームを行った。



図9 「なかよしスイッチ おしてみようカード」(上段)と感想(下段)



図10 実践1第4時「Tシャツ当てゲーム」

第1時の交流活動「好きな教科を伝え合おう」、第2時の「Missingゲーム」「伝言ゲーム」、第4時の「3ヒントクイズ」では、「ジェスチャー」や「なかよし言葉」を主な「なかよしスイッチ」として交流した。特に第2時、第4時の、正解した児童に自分が選んだ「なかよし言葉」を言う活動で、始めは恥ずかしくて「なかよし言葉」が言えなかった児童も、活動が進むにつれて、図11のようにジェスチャーを付けながら大きな声で言えるようになった。

抽出児童Aは、実践1の「インタビューゲーム」で、好きな「色」「食べ物」「授業」を友達にインタビューした。相手の目を見ながら話をすることはできていたが、うなずきながら話を聞くことはできていなかった。実践2の「Missingゲーム」では、自分が発表した際に、ほかの児童に「なかよし言葉」を言ってもらったり、ほかの児童の発表の時には自分が「なかよし言葉」を言ってあげたりしていた。

抽出児童Bは、実践1及び実践2で、「なかよし言葉」をタイミングよく使って活動していた。正解した児童にみんなで「なかよし言葉」を言うときには、片方あるいは両方の親指を立て、元気よく大きな声で「なかよし言葉」を言っていた。

(2) 全体の考察

「慣れる」過程では、図12の児童の感想から、ALTとHRTによるモデルを見て「スイッチ ON」の時のやり方が分かってまねをしたこと、様々な「なかよしスイッチ」をONして行たくさんの交流活動を積み重ねることで、友達と交流することが楽しいと感じていたことが分かった。

表1及び表2の実現度の変化を見ると、活動が進むにつれて「なかよしスイッチ ON！」に慣れ、できることが増えてきたことが分かる。特に、「ジェスチャーをする」「相手の目を見る」「なかよし言葉を言う」は「できた」と感じている児童が80%を超えていた。

これらから、児童はゲームでの交流を通じて「なかよしスイッチ」を意識して使い、相手に伝える体験、伝わる体験を積み上げてコミュニケーションの成功体験を得、友達と会話をする楽しさを感じるようになったと言える。

(3) 抽出児童の考察

表3は抽出児童A、Bの実践1、実践2の「慣れる」過程の活動の自己評価とそれぞれの感想である。これを見ると、抽出児童Aの「相手の目を見て話をする」「なかよし言葉を言う」、抽出児童Bの「言葉の調子を工夫して話をする」は、交流を重ねるごとに、できるようになってきていることが分かる。しかし、「う



図11 Missingゲームの児童の様子

- ・何回もやるうちに、ジェスチャーがよくできるようになってきました。
- ・先生たちの会話を見て、やり方が分かったのでまねしてみたらよくできました。
- ・ジェスチャーをしただけだと難しい英語が通じたので良かった。
- ・前は顔の表情を工夫できたけど、今日はできなかったの、次の時はきちんとやりたいです。
- ・友達考えた時間割がみんな個性的で面白いおもしろいし、楽しかったです。
- ・なかよし言葉を言ってもらってうれしかった。

図12 「慣れる」過程の児童の感想

表1 実践1の「なかよしスイッチ ON！」の実現度の比較（数字は割合%）

	実践授業前	第1時後	第2時後	第3時後
ジェスチャーを使って話ができた。	28	56	81	82
顔の表情を工夫して話ができた。	25	54	87	73
声(大きさや表情)を工夫して話ができた。	42	68	84	76
相手の目を見て話ができた。	59	79	81	91
はっきりとした声で話ができた。	56	73	78	79
相手になかよし言葉が言えた。	56	76	78	90

表2 実践2の「なかよしスイッチ ON！」の実現度の比較（数字は割合%）

	実践授業前	第1時後	第2時後	第3時後
相手になかよし言葉が言えた。	56	90	91	92
うなずきながら話が聞けた。	51	80	76	79
相手の目を見て話が聞けた。	59	83	87	88

表3 「慣れる過程」の振り返り（上段：抽出児童A、下段：抽出児童B）

抽出児童A			
評価項目	授業前	実践1 第3時後	実践2 第3時後
ジェスチャーを使って話ができた。	△	◎	○
顔の表情を工夫して話ができた。	△	◎	○
声(大きさや表情)を工夫して話ができた。	△	◎	◎
相手の目を見て話ができた。	△	○	◎
はっきりとした声で話ができた。	△	○	○
相手になかよし言葉が言えた。	△	○	◎
うなずきながら話が聞けた。	△	△	△
相手の目を見て話が聞けた。	△	○	○

(◎よくできた、○できた、△もう少し)

- ・インタビューゲームで友達のことがよく分かって楽しかった。
- ・なかよし言葉がたくさん言えて良かったです。相手は笑顔になりました。

抽出児童B			
評価項目	授業前	実践1 第3時後	実践2 第3時後
ジェスチャーを使って話ができた。	○	◎	◎
顔の表情を工夫して話ができた。	△	○	○
声(大きさや表情)を工夫して話ができた。	△	○	◎
相手の目を見て話ができた。	○	◎	◎
はっきりとした声で話ができた。	○	◎	◎
相手になかよし言葉が言えた。	○	◎	◎
うなずきながら話が聞けた。	○	○	○
相手の目を見て話が聞けた。	○	◎	○

(◎よくできた、○できた、△もう少し)

- ・なかよし言葉がいっぱい使えたので、次の英語の時もいっぱい使って楽しみたい。
- ・自分の時間割を伝えられて、まちがわずに相手が聞き取れてよかった。

なずきながら話を聞く」「相手の目を見て話を聞く」は両者ともに「よくできた」にはなっていないかった。

このことから、伝えるための「なかよしスイッチ」は児童自身が意識して交流し、できた実感を得ることができたが、話し手に気持ちを向けて聞くことには課題があると言える。

3 思いを伝え合うことについて

(1) 学習活動の概略と児童の様子

「広げる」過程では、様々な「なかよしスイッチ」から自分で選んでONして行く、思いを伝え合う交流活動を設定した。

実践1の第4時では、好みのTシャツをデザインし合う交流活動を行った。

まず始めに ALTと HRTが、好みのデザインを伝え合う会話や、図13のようなワークシートに一言メッセージを書く活動のモデルを児童に分かりやすく示した。次に相手の好みを知るためにインタビューを行った。児童が本単元で学習した色、形の英語表現だけでなく、動物、スポーツなど既習の英語表現を使って相手の好みを聞いたり、図14左のようにジェスチャーを使って相手に分かりやすく答えたりしていた。

英語表現がなかなか思い出せない児童は、近くにいる ALTや HRT、時には交流している友達に教えてもらっている姿も見られた。最後は図14右のように相手のリクエストに応じてデザインし、一言メッセージを書いて友達にプレゼントした。ワークシートの見本やTシャツ当てゲームで使ったデザインシートを参考にして、袖の色を変えたり動物の後ろ姿を描いたりしている児童が10人、メッセージを参考にしてしている児童が20人おり、教師が提示したモデルをうまく取り入れ見本としていた。

児童はその後、気に入ったところを指で示し、「ここが気に入ったよ」と伝えたり、英語で「Thank you.」と感謝の言葉を書いたりして、図15のように嬉しい気持ちを表現していた。

抽出児童Aは、普段はあまり自分の席から離れないが、自分の方から相手に歩み寄り、ジェスチャーを使って、笑顔で「うさぎ」「ハート」が好きなことを伝えていた。相手の好みを聞いて自分なりにデザインを工夫し、図16上段波線部のように、黒板に掲示してあるワークシートの一言メッセージを参考しながら友達へのワークシートを仕上げた。振り返りの感想には友達の好みを聞くことができた喜び、自分の好きなものが伝えられたうれしさが書かれていた。

実践2「あったらいいな！夢の時間割!!」第4時では、児童一人一人が、将来の夢、身近な目標、趣味などから、夢の教科「special subject」を考え、その教科にした理由、それを組み入れた夢の時間割、相手が楽しめるような伝え方を考えた。12頁表4は児童が考えた夢の教科とその伝え方などである。振り返りカードには、「友達を喜ばせられるようにジェスチャーを工夫したい」「友達のやりたい授業が聞けるので楽しみ」など、12頁図17のように次時に行く交流活動への期待を書いていた。

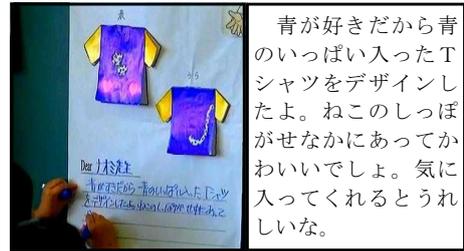


図13 「友達の好みのTシャツをデザインしよう」のワークシートの例示

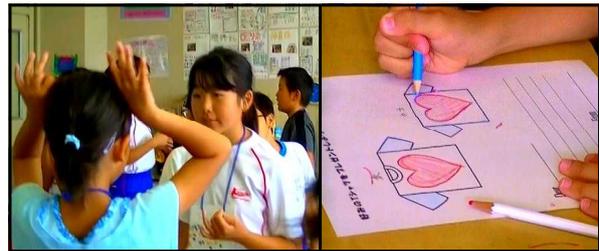


図14 「友達の好みのTシャツをデザインしよう」の児童の様子



図15 デザインしたTシャツを渡した後の交流の様子



図16 抽出児童Aが友達に渡したワークシートと事後の感想

表4 児童が考えた夢の教科、理由、伝え方、その伝え方にした理由

	夢の教科	その教科にした理由	伝える方法	その伝え方に決めた理由
A	医学(小児科)	子どもが好き。将来役に立つ。	言葉、ジェスチャー	注射を打っているジェスチャーはみんな分かるから。
B	山登り	山がすき。体力をつけたい。 トククイミツがはわもしろそう	ジェスチャー、山の写真	写真を見せたら喜んでくれそうだから
1	和太鼓	太鼓がすき。みんなでたたくと楽しい。	イラスト	絵が得意だから
2	マジック	みんなで見せ合いたい。自分が楽しみたい。	ジェスチャー	ジェスチャーが得意になったから
3	天体観測 (星の観察)	宇宙がすき。まだ人類が行っていないところに行ってみたい。人類以外の生命体がいるのか興味がある。将来学者になりたい。	イラスト、実物(遮光板)	イラストが得意だし、遮光板を見せればすぐに分かると思うから。
4	新聞作り	全校の人にいろいろなことを教えたい。	ジェスチャー、実物(新聞紙)	ジェスチャーで分からなくても、新聞紙を見せればいいから。
5	ヘアメイク	将来の夢。友達にやってあげたら喜んでくれた。	イラスト	わかりやすいイラストだから分かってもらえる
6	いろいろな職業	将来のことを考えると、今のうちにいろいろなことを知って将来困らないようにする。	3枚のイラスト	3枚の連想ゲームで分かってもらえるかもしれない。

児童が考えた教科：将来の職業にかかわるもの：ゲームを作る(ゲームクリエイター)、動物(獣医、動物学者)
 絵本を書く(童話作家)、イラスト(イラストレーター)、
 ディズニーター(ディズニーターのクルー)、テレビ(プロデューサー)、
 目標になっているもの：百人一首、テニス、スノーボード(全国大会)
 趣味・興味：水遊び、イラスト、映画鑑賞、読書、ロボットを作る、剣道、野球

第5時は、「夢の教科・時間割」を互いに分かりやすく工夫しながら伝え合い、感じたことをメッセージカードに書いて渡すという交流活動を行った。

活動の始めに、前時に一人一人が考え選んでいた「なかよしスイッチ」(図18)を確認し、それらをONして活動に取り組むこと、交流の目的は相手の夢の教科を当てることではなく、その教科にした理由などの相手の思いを聞くことを児童に伝え、交流を開始した。

ペアで会話の練習をした後、自由に歩き回って交流をした。自分の夢の教科・時間割を相手に分かりやすく楽しく伝えるために、ジェスチャーや言葉、イラストなどでクイズを出したり、実物を見せたりするなど、伝え方にも児童一人一人の工夫が見られた。一言メッセージを書く際は、相手がもらって嬉しいメッセージを書いていた。図19は交流の様子、資料、友達への一言メッセージである。

抽出児童Bは、「山登り」を写真とジェスチャーをヒントに伝えたと決め、第5時の交流では「ジェスチャー」「はっきりとした声」「目を見る」のスイッチをONにして、友達に紹介した。抽出児童Bの表情豊かなジェスチャーは、交流した相手の笑いを誘っていた。感想には、なかよしスイッチをしっかりと意識してONできたこと、相手の夢の時間割を知ることができて嬉しかったことが書かれていた。

- ・相手に分かりやすく話せるようにがんばりたいです。
- ・みんながどんな科目を考えているのか、すごく気になりました。
- ・みんなのスペシャルサブジェクトを聞いて、いろいろな話を聞くのが楽しみです。

図17 実践2 第4時の感想

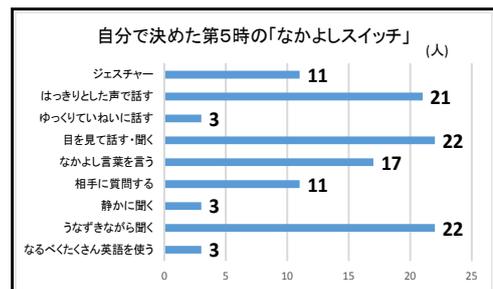


図18 自分で決めた「なかよしスイッチ」とその人数



図19 児童が考えた夢の教科・時間割(上段)、交流の様子(中段)、友達に渡したメッセージ(下段)

(2) 全体の考察

実践1の「友達の好みのTシャツをデザインしよう」では、「自分の好みを伝えたい」「相手の好みを聞こう」という思いと、その活動への期待感をもって活動したことが図20の児童の記述から分かった。実際の活動では、児童は「ジェスチャーで」「うなずきながら」「笑顔で」など、自分で選んだ「なかよしスイッチ」をONして交流している様子が見られた。

また、相手への一言メッセージには、「こんなTシャツにしたよ」「喜んでくれるかな」など、友達への思いが書かれていたり、デザインを見た感想を感謝の気持ちとともに友達に伝えていたりして、一人一人が生き生きと相手への思いを表現できたと言える。

図21の交流の感想からも分かるように、多くの児童が好みが伝えられた嬉しさや友達の好みが分かった喜び感じる事ができたことと回答していることから、「話したい」「聞いてあげたい」という思いを伝え合うことができたと言える。

さらに、一言メッセージを見て感想を伝え合ったことにより、相手が自分のことを思ってくれていることを知り、交流する楽しさ、喜びをより感じる事ができたと考える。

実践2の「夢の教科・時間割」を伝え合う活動は、図22の感想からも分かるように、時間割に対する自分の思いや、一人一人の児童の「友達に分かりやすく伝えたい」「友達の考えたことを知りたい」という交流への思いが込められていると考える。そして、12頁図18にある第5時のめあて「なかよしスイッチ」を決めて交流した結果、図23のように、25人の児童が「90%以上達成できた」と回答しており、自分で決めた「なかよしスイッチ」をONして活動することで、交流への思いが達成できたと言える。

その後のメッセージ交換では、初め「がんばってね」だけだったメッセージが、交流回数が増えるにつれ、「家族で行くと楽しいよね」「もしかしたらロボットの研究者になれるかもね」など、友達一人一人の思いに寄り添ったメッセージを書く児童が増え、友達への励ましや気遣いを各自が表現することができたことが分かる。

図24の感想にも、相手に分かるように伝えられたこと、言葉によらないコミュニケーション手段を使って交流できたことなどが書かれていたことから、交流活動を単元を中心に位置付け、自分で選んだ「なかよしスイッチ」をONして活動することで、相手に分かりやすく伝えたり、相手が気持ちよく話せるように聞くことができ、一人一人が生き生きと思いを伝え合うことができるようになったと考える。

(3) 抽出児童の考察

抽出児童Aは14頁図25から、実践1、2を通して、すべての「なかよしスイッチ」がONできると自己評価した。このことから、自分の伝えたい思いを、ジェスチャーや「なかよし言葉」、相手の目を見るなどのコミュニケーション手段を意識して伝え合うことができたと言える。

- ・来週友達のTシャツをデザインしてあげるので、友達の好きなものをしっかりと聞きたいと思う。
- ・自分の好きなTシャツをもらえるか、とても楽しみになりました。
- ・よいTシャツを作ってもらえるように、がんばって言いたいです。

図20 実践1 第3時の感想

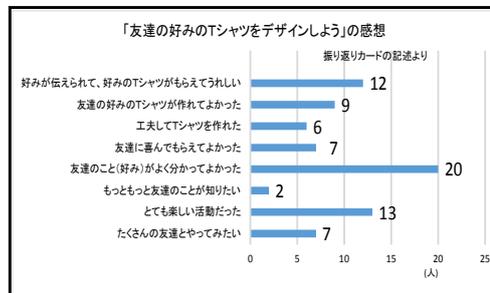


図21 実践1 第4時の交流の感想

- ・自分の考えた「スペシャルサブジェクト」が本当にあっという間に思いました。
- ・いい時間割が作れたので、来週の交流をいい活動にしたい。
- ・みんながどんな教科・時間割を考えているのかすごく気になりました。楽しみです。
- ・どう相手に伝えるかが難しそうです。でも自分なりの発表ができたらいいなあと思った。

図22 実践2 第4時の感想

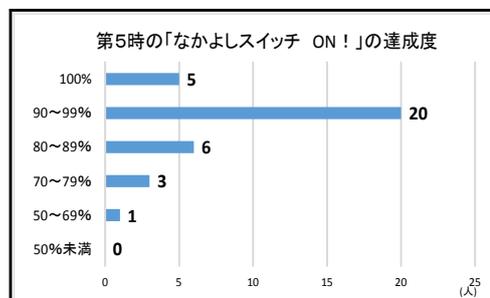


図23 実践2 終了後のアンケート(数字はめあてが達成できた人数)

- ・みんなのヒントやジェスチャーが分かりやすかったです。
- ・「顔の表情、声の大きさ、はっきりとした声、なかよし言葉」が特によくできてよかった。
- ・なかよし言葉を言ったら、相手が喜んでくれたので、私もうれしくなった。
- ・自分が教科を教えたら、なかよし言葉を言ってもらったので、伝えて良かったと思いました。

図24 実践2 第5時の感想

しかし、友達と交流することはある程度楽しいと感じたものの、「自分のことを話すこと、友達のことを聞くことは、自分にとって何の得にもならない」という理由から、依然として「あまり楽しくない」と答えており、「なかよしスイッチ ON!」で交流した経験が、「楽しさ」には結び付いていないことが分かった。1時間ごとの感想には「楽しかった」などの記述が見られ、さらに楽しさや喜び以外に、知的好奇心をくすぐり、「人とかがかわると新たな気付きがある」と思わせる活動を工夫していく必要があると考える。

抽出児童Bは、図26から実践1も実践2も、聞いて反応する「なかよし言葉」「うなずく」はよくできており、聞く活動の充実が話す活動の楽しさと結び付いたと考える。実践前には苦手としていた「自分のことを話すこと」は実践後「楽しい」と答えており、このことから、自分が選んだ「なかよしスイッチ」をONして、自分の思いを伝え合うことができ、伝え合う楽しさを感じられるようになったと言える。

4 外国語活動全体にかかわる考察

「外国語活動は楽しい」と感じている児童が図27のように、実践授業後は大幅に増えた。理由を聞くと、『「なかよしスイッチ ON!」』でいろいろやって楽しかったから」「Tシャツを作ったり、時間割を作ったりして伝え合うのが楽しかったから」などと答えており、「なかよしスイッチ ON!」での交流活動が効果的であったことが分かる。

また、授業の中で様々な「なかよしスイッチ」をONする経験を積み重ねることによって、図28のように、ほとんどの項目で数値が大きく上昇していた。その要因として、児童は、「先生たちの見本でどのようにするのか、やり方が分かったからできた」「何度もONして交流したからできるようになった」「自分だけでなく友達もしていたから恥ずかしくなくなってできるようになった」などと答えていた。このことから、事前調査における、言葉によらないコミュニケーション手段を工夫できない原因を解決できたと考える。

友達と交流することを楽しいと感じている児童は図29のように68%から77%になった。また、「自分のことを話すこと」「相手のことを聞くこと」も10ポイント程伸びた(15頁図30)。その理由として児童は、「いろいろ方法で話すことが楽しかったから」「相手が一生懸命話してくれたから」などと答えており、「なかよしスイッチ」という、「話したい」「聞きたい」

抽出児童A			
評価項目	実践授業前	実践1終了後	実践2終了後
ジェスチャーを使って話ができる。	△	○	◎
顔の表情を工夫して話ができる。	△	◎	◎
声(大きさや表情)を工夫して話ができる。	△	○	◎
相手の目を見て話ができる。	△	○	◎
はっきりとした声で話ができる。	△	◎	◎
相手になかよし言葉が言えた。	△	◎	◎
うなずきながら話が聞けた。	△	△	◎
相手の目を見て話が聞けた。	△	○	◎

(◎できた ○まあまあできた △あまりできなかった)

評価項目	実践授業前	実践2終了後
外国語活動は楽しい	△	△
友達と交流すること	△	○
自分のことを話すこと	△	△
相手のことを聞くこと	△	△

(◎楽しい ○まあまあ楽しい △あまり楽しくない)

図25 抽出児童A:「なかよしスイッチ ON!」と外国語活動の評価

抽出児童B			
評価項目	実践授業前	実践1終了後	実践2終了後
ジェスチャーを使って話ができる。	○	◎	◎
顔の表情を工夫して話ができる。	△	◎	◎
声(大きさや表情)を工夫して話ができる。	△	○	◎
相手の目を見て話ができる。	○	◎	◎
はっきりとした声で話ができる。	○	◎	◎
相手になかよし言葉が言えた。	○	◎	◎
うなずきながら話が聞けた。	○	◎	◎
相手の目を見て話が聞けた。	○	◎	◎

(◎できた ○まあまあできた △あまりできなかった)

評価項目	実践授業前	実践2終了後
外国語活動は楽しい	◎	◎
友達と交流すること	◎	◎
自分のことを話すこと	△	◎
相手のことを聞くこと	◎	◎

(◎楽しい ○まあまあ楽しい △あまり楽しくない)

図26 抽出児童B:「なかよしスイッチ ON!」と外国語活動の評価

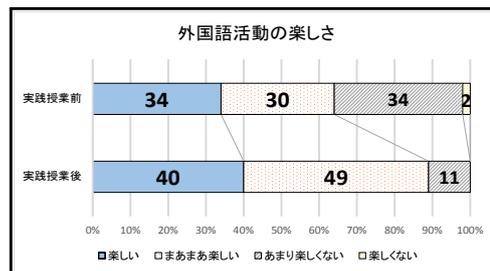


図27 外国語活動の楽しさの意識の変化

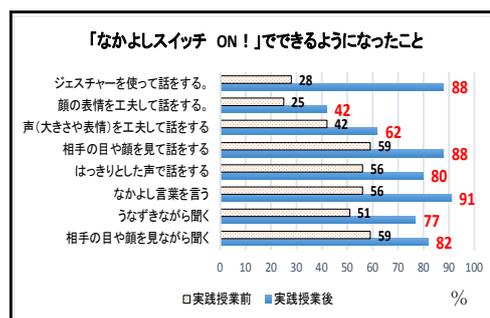


図28 「なかよしスイッチ ON!」のできるようになったことの割合の変化

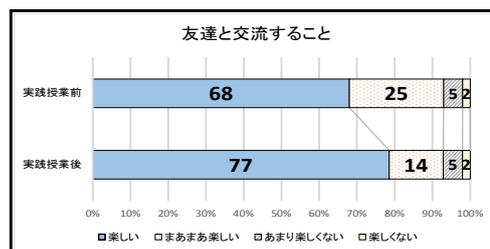


図29 友達との交流への意識の変化

思いを実現するための手段を、自分の意思でONして伝え合いの交流活動を行ったためだと考える。

一人一人の調査結果を見ると、交流することが「楽しい」と感じるようになった9%の児童は全員、自他のことを話すこと、聞くことを「楽しい」と感じていた。つまり単にゲームでの勝ち負けを味わう交流ではなく、「なかよしスイッチ ON!」で伝え合う交流そのものが楽しさと結び付いており、話す楽しさ、聞く楽しさは相乗効果があると言える。

これらのことから、外国語活動を楽しみと思えるようになり、積極的にコミュニケーションが図れるようになったのは、「なかよしスイッチ ON!」で自分の思いを生き生きと伝え合うことができたからだと考え。

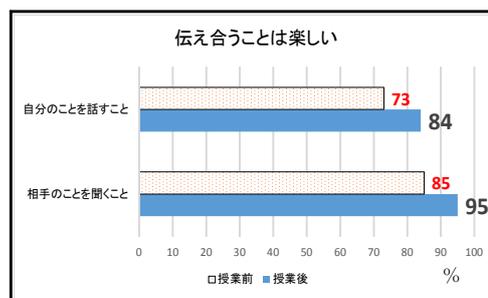


図30 伝え合いの楽しさの変化

IX 研究の成果と課題

1 成果

- 「なかよしスイッチ ON!」を交流活動に取り入れたことにより、今までよりも大きなジェスチャーをして伝えたり、相手が気持ちよく話せるようになぜいたり、「なかよし言葉」を使ったりしながら、一人一人が生き生きと思いを伝え合うことができるようになった。
- 好みのTシャツをデザインし合ったり、あったらいいなと思えるような夢の教科を伝え合ったりして、児童が「やりたい」「伝えたい」「聞きたい」と思えるような交流活動を行うことにより、人とかかわる楽しさや相手と分かり合える喜びを感じることができた。
- 相手の思いをくみ取ろうとする聞き方を通して、安心して自分を表現できる人間関係が作られ、一人一人が思いやりをもって人とかかわれるようになった。また、一人一人が考えたことを生かして交流する活動を取り入れることによって、相手のことを考えて伝えたり、相手の思いをくみ取って聞いたりすることができるとともに、友達を理解することにもつながり、人間関係が深まった。

2 課題

- 「友達に話してよかった」、「友達の言うことを聞いてよかった」などの気持ちは、お互いを思いやって、安心できる人間関係の中で生まれるものである。ほめたり励ましたりする「なかよし言葉」の充実はもとより、相手にわかりやすい話し方、相手が気持ちよく話せるような聞き方をさらに浸透させる。
- 一人一人が思いを豊かに表現するために、毎時間、意図的に言葉と言葉によらないコミュニケーション手段を意識して使う経験をさせ、その単元を中心となる活動につながるよう、単元を構成する。
- 第6学年では、慣れ親しんだ英語表現が増えてくると同時に、英語を聞いたり、話したりすることが苦手と感じている児童にとっては心理的負担も大きくなると考えられる。そのような児童も言葉によらないコミュニケーション手段を活用しながら、徐々に使える語彙・表現が増え、英語を使って相手と伝え合う楽しさが感じられるような活動を、意図的に設定し継続していく。

X 外国語活動充実のために

人とかかわりが量的にも質的にも広がっていく小学校の段階で、外国語を使って、人とかかわる様々な経験を積むことは、その後のコミュニケーション能力育成の礎を築くことになる。

そこで、外国語活動をより充実させるために、以下のことを行うことが大切であると考えた。

1 一単位時間の中で児童同士が交流できるような場面を必ず入れた単元計画の作成

楽しくゲームをするだけの活動ではなく、児童同士が英語で会話をしたり、友達の新しい面を知ったりするなど、「交流して楽しかった」と感じられるような場面を設定する。

2 モデルの提示

教師の願いとともに、具体的にどんな英語でどんな行動をするのかを ALT と HRT がモデルとして提示することは、児童にとって視覚的にも理解しやすくなる。適切なモデルの提示は、児童の活動をより充実したものにする要点である。

3 教師の姿勢

児童が「先生もがんばっているなあ」「そうやれば相手に伝わるんだ」と思えるように、英語を苦手とする教師も、学習者のモデルとして積極的に英語を使って人とかかわる態度を示すことにより、「話せないから苦手」という児童の苦手意識を軽減させると考える。

また児童のコミュニケーション能力を育成するためには、指導者自らが高いコミュニケーション能力を身に付ける必要がある。日頃から、様々な場面で様々な人と接し、会話をしたり共に行動したりして、教師自身のコミュニケーション能力や人間性を磨いていく。

4 温かい人間関係の構築

小学校外国語活動の目標である「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」を目指す上で、温かい人間関係の構築と学級経営とは切り離して考えられないであろう。児童が安心して伝え合うためには、外国語活動の時間だけでなく、普段の学校生活の中で、友達の良いところに気付き、認め合える温かい人間関係作りが必要である。そして教師は日頃から児童同士の心の交流やつながりを意識した学級経営を行っていくことが、外国語活動の時間の児童の活動にも良い影響を与える。よって、4月から各教科、道徳、特別活動などにおいて、児童同士のつながりが生まれるような学習計画を基に、意図的・計画的に児童同士の交流機会を設定し、温かい人間関係作りを行っていく。

<参考文献>

- ・秋田 喜代美 キヤサリン・ルイス 編著
『授業の研究 教師の学習』 明石書店(2008)
- ・岡 秀夫・金森 強 著
『小学校外国語活動の進め方』 成美堂(2012)
- ・金森 強 著 『小学校外国語活動 成功させる55の秘策』 成美堂(2011)
- ・齋藤 孝 著 『コミュニケーション力』 岩波書店(2004)
- ・直山 木綿子 著 『小学校外国語活動のあり方と “Hi, friends!” の活用』 東京書籍(2013)
- ・松川 好孝 那覇市立教育研究所 研究報告書 第96期 707号(2011)
- ・森田 幸孝 著 『コミュニケーション能力を鍛えよう!』 幻冬舎ルネッサンス(2012)
- ・文部科学省 『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』 東洋館出版(2008)
- ・安彦 忠彦 監修 大城 賢・直山 木綿子 編著
『小学校学習指導要領の解説と展開 外国語活動編』 教育出版(2008)

<研究協力校>

高崎市立金古小学校

<研究協力者>

粕川 靖子

<担当指導主事>

竹澤 昭吾 悴田 利行

外国語活動学習指導案（第5学年）

1 単元名 「夢の時間割を伝え合おう」（“Hi, friends! 1” Lesson 8）

2 考察

(1) 教材観

これまで外国語活動の時間では、慣れ親しんだ簡単な英語表現を使って、自分の好きなものを伝えたり、友達に何が好きかをインタビューする交流活動を行ってきた。かるたやビンゴといったゲームだけでなく、今まで知らなかった友達のことを知ったり、自分のことを伝えたりする活動を行う中で友達と関わる楽しさを感じてきている。

「時間割」は学校生活の中でもっとも身近な教材である。本単元では、本来学習を目的とし、児童にとっては「楽しい！」と言い難い学習時間割を、「こんな教科があったらいいな」というわくわくする思いをもってオリジナルで作成し、「夢の時間割」を伝え合うコミュニケーション活動に取り組む。慣れ親しむ場面では、英語表現とともに言葉によらないコミュニケーション手段をたくさん使って活動することで、相手の思いを受け止めて相手が気持ちよく話せるように反応できるようになると思われる。また、コミュニケーションの場面では、自分が考えた「夢の教科」やその理由、こんなことをがんばりたいという思いなどを、自分で言い表したい英語表現や日本語、言葉によらないコミュニケーション手段を使って、自分が伝えたい方法（クイズ、イラストなど）で伝える。このことにより、児童一人一人が自分の思いを表現しようとし、気持ちのこもったコミュニケーション活動になると考える。

そこで、既習の英語表現や英語で相手をほめる・励ます言葉、ジェスチャー、表情など、自分の思いを分かりやすく相手に伝えたり、相手の思いをくみ取ろうと聞いたりする手段を児童自ら選択して使う「なかよしスイッチ ON!」を取り入れた交流活動を行っていくこととした。「なかよしスイッチ」とは、自分の思いを伝え合うためのスイッチである。具体的には、既習の英語表現、英語で相手をほめたり励ましたりする「なかよし言葉」、言葉を補うコミュニケーション手段であるジェスチャー、表情、うなずきなどである。「こう伝えたい」「こう聞きたい」を考えて、自分で選び意識して使うこと、これが「ON!」である。「なかよしスイッチ ON!」とは、自分の思いを伝え合うためには、コミュニケーション手段を工夫していくことが必要であることを認識し、「なかよしスイッチ」の中から自分で選んで使って交流していこうという意識をもって、聞く側に分かりやすく伝えたり、話す側の思いに気持ちを向けて聞いたりする状態のことである。なかよしスイッチは一人一人の心の中にあり、ONするスイッチは児童によって違う。また、活動によってスイッチも変わってくる。児童自らスイッチをONにすることで、無理なく、楽しく、自分の思いを伝え合うことができるであろう。

このように本単元は、児童一人一人が自分の思いを表現しようとしたり、友達の思いを受け止めようとしたりしようとする意欲を伸ばし、友達とかかわって自分の思いを生き生きと伝え合うことができることができる題材であると考えられる。

(2) 児童の実態及び指導方針

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・ 児童は活動的な教科を好む傾向があることがアンケートより分かったので、外国語活動でも机の上で行うゲームより、歩きながら交流したり、たくさん声を出したりする活動を行っていくことで、意欲を高めていきたい。

外国語への慣れ親しみ

- ・ なかよし言葉については、92%の児童が言えているので、さらに、相手の気持ちや言うタイミングを考えて言えるようにしたい。
- ・ 本単元の新出表現である時間割については、54%の児童が「どの教科の言い方も知らない」と

答えている。実際には“English”は始業前に日直が言っているし、“music”はテレビの番組にもある。知っている外来語などと組み合わせながら、楽しく覚え交流できるようにするとともに、ゲームを通して教科の英語表現に慣れ親しませていきたい。

言語・文化に関する気付き

- ALTの発音をまねして英語独特の発音にも慣れてきている。教科の英語表現は全く知らない児童がほとんどなので、聞いたことがあると思われる英語表現とかかわらせて、発音の相違点、共通点に気付かせたい。

3 研究とのかかわり

学習指導要領における外国語活動の目標「外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う。」を受けて、「はばたく群馬の指導プラン」では「相手の思いを理解しようとしたり積極的に自分の思いを伝えようとしたりして、思いを伝える大切さを実感する児童の育成」を目指している。

本単元では、自分が考えた教科を入れた「夢の時間割」やその理由を「なかよしスイッチ ON!」で伝え合う交流をすることで、自分の思いを表現したり、相手の思いを受け止めたりすることができる。また、「なかよしスイッチ」をONして、友達に伝えたいことが伝えられた、相手の伝えたいことが分かったという成功体験を積むことで、相手とかかわって思いを伝え合うことの大切さ、楽しさを感じ、生き生きと自分の思いが表現できるようになると思われる。

4 単元の目標

様々なコミュニケーション手段を工夫して、夢の教科やそれを学習してみたい理由、その教科への思いなどを、一人一人が人とかかわって楽しく伝え合う。

5 主な表現や語彙

- 場面 「夢の時間割を伝え合う」「ほめる、はげます」
- 新出表現 What do you study on (曜日)? I study (教科) on (曜日).
教科 (Japanese, calligraphy, social studies, math, science, English, music, arts and crafts, home economics, P.E.)
曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- 語彙
 - ・共通して使うもの: How are you? Why? Because~. Here you are. Thank you.
 - ・選択して使うもの: I'm (happy, sleepy, good hungry, など)
なかよし言葉 (Good, Excellent, Wonderful, What?, That's right, Yes, OK! など)

6 指導計画 (全5時間)

評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	進んで友達とかかわり、様々なコミュニケーション手段を使って夢の時間割を伝え合う活動をしている。	
	外国語への慣れ親しみ	曜日や時間割についての英語表現や時間割を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。	
	言語・文化に関する気付き	外国の小学校や授業に興味をもち、日本との共通点や違いに気付いている。	
時間	過程	伸ばしたい資質・能力	主な学習活動 (【 】は主なかよしスイッチ)
		コミュニケーション能力の素地	

第1時	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 今日の気分を、英語や言葉によらないコミュニケーション手段を使って話したり聞いたりしようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が気持ちよく話せるような聞き方をすることの大切さへの気付き。 外国の学校生活への興味・関心と日本の学校生活との共通点、相違点への気付き。 教科の英語表現を用いて、友達と好きな教科やその理由を伝え合おうとする態度。 	【身ぶり手ぶり、顔の表情、声、アイコンタクト、うなずき】 <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 外国の学校生活 「好きな教科を伝えよう」ゲーム
第2時	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ALTとHRTの会話の内容を場面から推測する力。 話し手が気持ちよく話せるように、アイコンタクト、うなずき、なかよし言葉を使って、相手の伝えたいことを受け止めようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科の英語表現や学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現への慣れ親しみ。 	【単元の英語表現、なかよし言葉】 <ul style="list-style-type: none"> Missing ゲーム かるた 伝言ゲーム カード交換ゲーム
第3時			<ul style="list-style-type: none"> 教科や曜日、学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現を使って、相手に伝えたいことを伝える力。 	【単元の英語表現、なかよし言葉】 <ul style="list-style-type: none"> 時間割を伝えようゲーム
第4時			<ul style="list-style-type: none"> 自分が伝えたいことを表す英語表現やそれを伝えるためにどんなコミュニケーション手段を使うか考える力。 	【なかよし言葉、ジェスチャー】 <ul style="list-style-type: none"> 3ヒントクイズ
第5時	広げる	<ul style="list-style-type: none"> 英語や言葉によらないコミュニケーション手段を使って、自分の思いを表現したり、相手の思いを理解しようとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えた夢の時間割を、伝え方を工夫して、今までに学習した英語表現や自分が言いたいことを表す英語表現を用いて、相手に伝えたいことを伝える力。 	【自分が言い表したい英語表現、自分で選んだコミュニケーション手段】 <ul style="list-style-type: none"> 「夢の時間割」を伝え合おう

《第1時》

- (1) ねらい
 - 教科の英語表現を知り、相手が気持ちよく話せるような聞き方を工夫しながら友達と楽しく活動する。
 - 外国で学習する教科に興味をもち、日本との共通点や違いに気付く。
- (2) 使用表現

How are you? I'm～. Why? なかよし言葉

教科 (Japanese, math, social studies, science, English, music, arts and crafts, home economics, calligraphy, P.E.)
- (3) 準備

Hi, friends!1、デジタルHi, friends!1、パソコン、プロジェクタ、スクリーン、CDラジカセ、CD、教科カード (大1, 小40組)、振り返りカード
- (4) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援 (◎研究上の手だて) ◇評価の観点	
		HRT	ALT
【Greeting】 1 「なかよしスイッチ ON!」を確認する。	3	◎ ALTと HRTのモデルから、話し手が気持ちよく	ON!」を確認する。 ・ HRTとスイッチONとOFFのあいさつをし、ONの聞き方の心地良

		く話せるような聞き方を考えさせ、特に本単元では「聞き方」を意識して活動を行っていくことを知らせる。	さに気付かせ、心のこもった交流への意欲を高める。
<p>[Warm up]</p> <p>2 自分の「なかよしスイッチ」を決めて友達とあいさつをする。</p> <p>◇How are you? I'm～. Why? Because～.</p>	3	<p>◎あいさつをするときの自分のスイッチ（ジェスチャー、声、アイコンタクトなど）を決めて、「なかよしスイッチ ON!」で交流するように声をかける。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。</p>	<p>・児童と積極的に会話をする。</p>
<p>[Presentation]</p> <p>3 他国の学校の学習の様子を聞き、興味をもつ。</p> <p>・ALTにアメリカの話聞く。</p> <p>・他国の様子を担任に聞く。</p> <p>・Hi, friends! 1 p, 34 Let's Listen 2を聞き、オーストラリア、中国の学校生活の様子を知る。</p>	14	<p>・ALTにアメリカと日本の教科の相違点について尋ねる。</p> <p>・他国への興味をもたせるために他国ではどんな教科があるかをクイズ形式にして児童に知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>タイ…ダンス イギリス…宗教 ウクライナ…伝統文化 (民族舞踊、歌、料理、祝日の祝い方) ブラジル…音楽の授業はない。 チェコ…庭仕事</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇外国の学校生活に興味をもって話を聞き、日本との違いや共通点に気付いている。(観察、ワークシート、振り返りカード)【言】</p> </div> <p>・教師の話の聞いたり、デジタル教材を見たりして、分かったことをワークシートに書くことで、日本と外国の学校生活の共通点や相違を明らかにする。</p>	<p>・アメリカの学校生活や教科について話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・入学式がない。 ・スクールバスで通学 ・教科書は学校で借り、鉛筆、消しゴムは学校にある物を使う。全部学校に置いて帰る。 ・留年がある。</p> </div>
<p>[Practice]</p> <p>4 教科の英語表現を知る。</p>	10	<p>・日本で学習している教科を発表するように促し、児童が覚えやすいように、聞いたことのある外来語に関連させて伝える。</p>	<p>・英語でゆっくりと分かりやすく発音する。</p>
<p>[Activity]</p> <p>5 「好きな教科を伝えよう」ゲームをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「好きな教科を伝えよう」</p> <p>①好きな教科を決め、自由に歩き回って、理由とともに友達に伝える。</p> <p>②うなずき、アイコンタクト、なかよし言葉を意識して、相手の話を聞く。</p> </div>	10	<p>◎児童に聞き方の見本を示すために、なかよし言葉やアイコンタクトなどを意識したモデル会話を行う。</p> <p>◎話す側が「話して良かった。聞いてもらって良かった。」と感じ取れるような聞き方を意識して交流するように伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ALT/HRT: Hello! ALT: I like math. HRT: Oh! Math? Why? ALT: Because 計算が得意だから。 HRT: Very good! A: Thank you.</p> </div>	<p>・児童とともに会話をし、英語の発音や、聞き方の見本になる。</p>
<p>[Closing]</p> <p>6 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</p> <p>・振り返りカードに記入する。</p>	5	<p>・今日の活動では何を意識し、どんなことをしたかを思い出すことで、「なかよしスイッチ ON!」の活動を振り返れるようにする。</p> <p>・特に聞き方が上手な児童の名前を挙げさせ、</p>	<p>・児童が「なかよしスイッチ ON!」で活動していることに対して、「Great!」「Good!」</p>

	賞賛することで、聞き方を意識させる。 ・数名の児童を指名し、今日の授業の気付きを学級全体で共有する。	などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。
◇うなずき、アイコンタクト、なかよし言葉など、話し手が気持ちよく話せるような聞き方を工夫して、教科の英語表現を使って友達と仲良く交流している。(観察、振り返りカード点検) 【コ】		

板書計画 (なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。)

あったらいいな！夢の時間割！

I like ~.

教科の絵カード

なかよしスイッチ

言葉	言葉以外
学習した英語 なかよし言葉	ジェスチャー 顔の表情 声の表情 声の大きさ など
ON!	

気持ちを合わせて聞く

うなずく
目を見る
なかよし言葉を言う

なかよし言葉

【コミュニケーションを楽しむための3つのポイント】

Today's menu
外国の学校生活は？

好きな教科を
伝えようゲーム

《第2時》

- 1 ねらい 目を合わせてうなずいたり、なかよし言葉を言ったりしながら、ゲームを通して曜日や教科の英語表現に慣れ親しむ。
- 2 使用表現 How are you? I'm~. What do you study? I study~. なかよし言葉 教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など) 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- 3 準備 Hi, friends!1、教科カード (大1、小40組)、曜日カード (大1)、ワークシート、振り返りカード
- 4 展開

学習活動	時間	指導上の留意点	
		HRT	ALT
[Greeting] 1 「なかよしスイッチ ON!」を確認する。	3	Today's Menuを提示し、「なかよしスイッチ ON!」を確認する。	
		◎「なかよしスイッチON」を確認し、友だちと もっと仲良くなるために様々なコミュニケーション手段を使って交流していこうという意欲付けをする。 ◎気持ちのこもった交流になるように、コミュニケーションのポイントを確認する。	・HRTと「なかよしスイッチ ON!」であいさつをし、交流への意欲を高める。
[Warm up] 2 自分の「なかよしスイッチ」を決めて友達とあ	3	◎あいさつをするときの自分のなかよしスイッチ (ジェスチャー、アイコンタクトなど) を	・児童と積極的に会話を

<p>いさつをする。 ◇How are you? I'm～. Why? Because～.</p> <p>3 曜日、教科の歌を歌う。</p>		<p>決めて、「なかよしスイッチ ON!」で交流するように声をかける。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。</p> <p>・楽しい雰囲気の中で教師も一緒に活動することで、外国語活動への意欲をもてるようにする。</p>	
<p>[Activity]</p> <p>4 教科の英語表現や学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現を聞いたり言ったりして、友達と協力してゲームをする。</p> <p>・Missingゲーム ・かるたゲーム</p>	14	<p>◎なかよし言葉を一人一人が意識して使うようなゲームを多く行い、なかよし言葉を言う機会を多くするとともに、教科の表現、学習する教科を尋ねたり答えたりする表現に親しむことができるようにする。</p>	<p>・ジャスチャーや英語表現で、児童にわかりやすく伝える。</p>
<p>「Missingゲーム」</p> <p>①黒板に掲示してある英語表現のうち、ALT が1～2枚隠す。 ②ペアで協力して隠されたカードは何かを答える。 ③合っていたらみんなでなかよし言葉を言ってほめる。</p>		<p>「かるたゲーム」</p> <p>①4人グループで行う。 ②児童が「What do you study?」とALTに質問し、ALTの答えた教科のカードを言いながら取る。 ③最後にグループチャンピオンを、なかよし言葉を言ってみんなで賞賛する。</p>	
<p>・伝言ゲーム</p>	10	<p>・ゲームの方法をHRTが児童と一緒に行って見本を示すことにより、理解しやすくする。</p> <p>◎なかよし言葉を言う声の大きさや種類の豊かさなどで、獲得ポイントが決定することを伝え、一人一人がしっかりとなかよし言葉が言えるようにする。</p>	<p>・手に取るピクチャーカードが重複しないよう、一番後ろの児童に、それぞれ違う教科の表現を伝え、ゲーム開始の合図をする。</p>
<p>「伝言ゲーム」</p> <p>①列の一番後ろの児童に「I study(教科).」を伝える。 ②次の人は「What do you study?」と聞き、伝える児童は耳元で「I study(教科).」と言いい、次々に伝言していく。 ③一番前の児童は黒板にはってあるピクチャーカードを取り、グループの児童に「What do you study?」と聞かれたら、大きな声で「I study(教科).」と答える。 ④合っていたらその列の児童が大きな声でジェスチャーをしながらなかよし言葉を言う。声の大きさとジェスチャーによって、担任が獲得ポイントを決める。</p>			
<p>・カード交換ゲーム</p> <p>「カード交換ゲーム」</p> <p>①教科のカードを1枚もつ。 ②「What do you study?」と言いながらカードを見せる。 ③相手が「I study～.」と言いい、合っていたらなかよし言葉を言って、カードを渡す。 ※場合によっては2枚でも可</p>	10	<p>◎ALTとHRTのモデル会話で、ゲームのやり方、なかよし言葉の言い方、カードの交換の仕方を丁寧に行い、やり方を児童に徹底させる。</p> <p>HRT/ALT: Hello! HRT: What do you study? (1枚教科のカードを見せる) ALT: I study Math. HRT (合っていたら) Excellent! (なかよし言葉) Here you are. (カードを渡す) ALT: Thank you. (カードをもらう)</p>	
<p>[Closing]</p> <p>5 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</p> <p>・振り返りカードに記入する。</p>	5	<p>・今日の活動では何を意識し、どんなことをしたかを思い出すことで、「なかよしスイッチ ON!」の活動を振り返れるようにする。</p> <p>・数名の児童を指名し、今日の授業の気付きを</p>	<p>・児童が「なかよしスイッチ ON!」で活動していることに対して、「Great!」「Good!」</p>

	学級全体で共有する。	などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。
◇教科や学習する教科を尋ねたり答えたりする英語表現、なかよし言葉を使って、友達と楽しくゲームで交流している。(観察、振り返りカード点検)【コ】		

板書計画 (なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。)

あったらいいな！夢の時間割！

What do you study?

I study ~.

教科の絵カード

なかよしスイッチ

言葉	言葉以外
学習した英語 なかよし言葉	ジェスチャー 顔の表情 声の表情 声の大きさ など
ON!	

気持ちを合わせて聞く

うなずく
目を見る
なかよし言葉を言う

なかよし言葉

【コミュニケーションを楽しむための3つのポイント】

Today's menu

Missing ゲーム

かるたゲーム

伝言ゲーム

カード交換ゲーム

《第3時》

- (1) ねらい 相手の目を見たり、なかよし言葉を言ったりして友達と交流し、時間割を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむ。
- (2) 使用表現 How are you? I'm~. Why? What do you study on (曜日)? I study~.
なかよし言葉
教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など)
曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
Do you like~?
- (3) 準備 Hi, friends!1、曜日カード (大1、小40)、教科カード (大1、小40組)、時間割ワークシート、振り返りカード
- (4) 展開

学習活動	時間	支援および指導上の留意点	
		HRT	ALT
<p>[Greeting]</p> <p>1 「なかよしスイッチ ON!」を確認し、特に「聞き方」を意識して友達とあいさつをする。</p> <p>◇How are you? I'm~. Why? Because~.</p>	5	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Today's Menuを提示し、「なかよしスイッチ ON!」を確認する。</p> </div> <p>◎「なかよしスイッチON」を確認し、友達とちょっと仲良くなるために様々なコミュニケーション手段を使って交流していこうという意欲付けをする。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするため、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTと「なかよしスイッチ ON!」であいさつをし、交流への意欲を高める。 ・児童と積極的に会話を

2 曜日、教科の歌を歌う。	5	<p>ところをほめ合うように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で教師も一緒に活動することで、外国語活動への意欲をもてるようにする。 	
<p>[Review]</p> <p>3 カード交換ゲーム Part2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「カード交換ゲーム Part2」</p> <p>①教科と曜日のカードを1枚ずつもつ。</p> <p>②「What do you study?」と言いながらカードを2枚見せる。</p> <p>③相手が「I study(教科)on(曜日.)」と答え、合っていたらなかよし言葉を言って、カードを渡す。</p> </div>	10	<p>◎ALTとHRTのモデル会話で、ゲームのやり方、なかよし言葉の言い方、カードの交換の仕方を丁寧に言い、やり方を児童に徹底させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT/HRT: Hello!</p> <p>ALT: What do you study? (教科と曜日のカードを1枚ずつ見せる)</p> <p>HRT: I study music on Friday.</p> <p>ALT: (合っていたら) Excellent! (なかよし言葉)</p> <p>Here you are. (カードを2枚とも渡す)</p> <p>HRT: Thank you. (カードをもらう)</p> </div>	
<p>[Main activity]</p> <p>4 「時間割を伝えようゲーム」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTと児童で行う。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに月～金曜日、1～4時間目までの時間割を、10教科を入れて作るように指示する。 ・ はじめに、ゲームのやり方を説明するために、ALTと児童全員でゲームを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童全員: What do you study on Monday?</p> <p>ALT: On Monday I study math, Japanese, P.E. and music.</p> <p>(ワークシートにALTの時間割を記入する)</p> <p>児童全員: (ALTの方にメモした時間割を見せながら) Math, Japanese, P. E, music. OK?</p> <p>ALT: Good job! 児童全員: Thank you.</p> </div> <p>◎モデル会話で、しっかり相手の目を見て交流する場面、なかよし言葉を言う場面をはっきり示し、意識して活動できるようにさせる。</p> <p>◎たくさんの児童に進んで声をかけ、児童がアイコンタクトやうなずき、なかよし言葉を使って交流しているかを見取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 達成感と活動への意欲をもたせるために、正しく聞き取れた友達には、サインをしてあげるように指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇アイコンタクト、うなずきを意識し、なかよし言葉を使って、時間割を尋ねたり答えたりしている。(観察、振り返りカード)【外】</p> </div>	
<p>[Closing]</p> <p>5 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードに記入する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の活動では何を意識し、どんなことをしたかを思い出すことで、「なかよしスイッチON!」の活動を振り返れるようにする。 ・ 数名の児童を指名し、今日の授業の気づきを学級全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が「なかよしスイッチ ON!」で活動していることに対して、「Great!」「Good!」などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。

板書計画（なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。）

《第4時》

- (1) めあて あったらいいと思う「夢の教科」を考え、その英語表現を知るとともに、伝え合う交流の仕方を考える。
- (2) 使用表現 How are you? I'm~. Why? What do you study on (曜日)? I study~.
 なかよし言葉
 What's this? special subject
 教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など)
 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- (3) 準備 ワークシート、 振り返りカード
- (4) 展開

学習活動	時間	支援および指導上の留意点	
		HRT	ALT
[Greeting] 1 「なかよしスイッチ ON!」を確認し、特に「聞き方」を意識して友達とあいさつをする。 ◇How are you? I'm~. Why? Because~.	5	Today's Menuを提示し、「なかよしスイッチ ON!」を確認する。 ◎「なかよしスイッチON」を確認し、友だちともっと仲良くなるために様々なコミュニケーション手段を使って交流していこうという意欲付けをする。 ◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。	・HRTと「なかよしスイッチ ON!」であいさつをし、交流への意欲を高める。 ・児童と積極的に会話をする。
2 曜日、教科の歌を歌う	5	・楽しい雰囲気の中で教師も一緒に活動することで、外国語活動への意欲をもてるようにする。	
[Review] 3 時間割を伝え合う英語表現を思い出す。	10	◎児童がspecial subjectを相手に伝える方法を考えるときのヒントになるように、絵カード、ジェスチャー、英語表現、実物提示などでクイ	

<p>・ 3 ヒントクイズ</p>		<p>ズを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 ヒントクイズ</p> <p>①ALTが言う3つのヒントを聞き、何の教科かを答える。 ②答えた人に大きな声でなかよし言葉を言い、賞賛する。 ③即興で問題が出せる児童を募り、ALTと協力して問題を作成し、HRTとその他の児童で答える。</p> </div>
<p>[Presentation]</p>			
<p>4 デモンストレーションを見て、「夢の時間割」を伝え合う交流活動のやり方を知る。</p>	<p>3</p>	<p>◎次時の交流の見通しをもたせるために相づちを打ったりジェスチャーを交えながらゆっくりとわかりやすくやりとりをしてみせる。 ◎次時に気持ちを込めた交流ができるように、夢の教科に対する思いや相手に楽しく伝える方法を考えるように伝える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT: What do you study on Tuesday? HRT: (自分の作った時間割を見せ、指で指しながら) On Tuesday, I study science, P.E. special subject, Japanese, and music. ALT: What?(special subjectを指さして) HRT: Hint 1 ~、Hint 2 ~ ALT: Violin! HRT: Yes. That's right! ALT: Why? HRT: Because I like Violin. 小さい頃、習っていたんだよ。バイオリンの授業があったらみんなと合奏が出来て楽しそうだから。 ALT: What song do you play? HRT: I play Mickey Mouse march. ALT: Fantastic! HRT: Thank you.</p> </div>
<p>[Main activity]</p>			
<p>5 「夢の教科」を考え、「夢の時間割」を作成する。 ・ 夢の教科 ・ 理由やその教科に対する思い ・ 「夢の教科」を入れた「夢の時間割」 ・ 伝える方法 (クイズ、絵、ジェスチャー、実物など)</p>	<p>17</p>	<p>・ 「夢の教科」が思いつかない児童には、好きなことを聞いたり、今夢中になっていることを聞いたりして、具体的に教科をイメージするように助言する。 ◎伝えたいことを伝えたい方法で相手に伝えるために、それにあつた教材、教具を作成させる。</p>	<p>・ 「夢の教科」を児童から聞き、英語表現を伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「時間割作成の注意」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10教科 + special subject ・ 「special subject」は毎日必ず入れる。 教科は書かずに、マーカーでぬる。 ・ 同じ教科は1日2時間まで。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>「夢の教科」を考えて時間割を作成し、楽しく伝え合う方法や、その教科に対する思いを考えている。(児童観察・ワークシートの記述、振り返りカード点検)【コ】</p> </div>
<p>[Closing]</p>			
<p>6 まとめをする。 ・ 次時の目標を考えてワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>5</p>	<p>◎相手にどんな風に伝えたいか、どんな工夫をするかなど、活動の視点を与えて目標を立てさせる。 ◎次時の活動にいかすために、話す側と聞く側の「なかよしスイッチ」を考えさせ、ワークシートに記入させる。</p>	<p>・ 励ましの言葉をかけ、交流への意欲を高める。</p>

板書計画（なかよし言葉については、複数箇所に掲示する。）

「夢の時間割」を
伝え合おう!

時間割を作るとき注意

① 10教科+Special subject
② 「Special subject」は毎日、
教科は書かず、マーカーである。
③ 同じ教科は1日2時間まで

なかよしスイッチ

言葉

学習した英語
なかよし言葉

言葉以外

ジェスチャー
顔の表情
声の表情
声の大きさ
など

ON!

なかよし
言葉

special subject

どんな学習? 伝え方は?
理由は?

「夢の時間割」を伝え合おう!

Name ()

	月	火	水	木	金
	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1					
2					
3					
4					
5					
6					

めあて

Special subject

教科を書かず

教科

*絵が得意、こんなことに興味があるも、得意なことやしたい、こんなことを楽しみたい、かなど

気持ちを合わせて聞く

うなずく
目を見る
なかよし言葉を言う

Today's menu

3ヒントクイズ

夢の教科を考えよう

補助黒板

あったらいいな! 夢の時間割!

What do you study on (曜日)?

I study (教科) on (曜日).

教科の絵カード

曜日の絵カード

《第5時》

- (1) めあて 様々なコミュニケーション手段を使って、自分で考えた「夢の教科・時間割」を気持ちを含めて伝え合う交流活動を通して、一人一人が思いを伝え合う喜びを感じる。
- (2) 使用表現 How are you? I'm~. Why? What do you study on (曜日)? I study~.
なかよし言葉 What's this? special subject, Hint, please.
教科 (Japanese, math, social studies, science, P.E, など)
曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday)
- (3) 準備 児童が作成した夢の時間割ワークシート、振り返りカード、
- (4) 展開

学習活動	時間	支援および指導上の留意点	
		HRT	ALT
<p>[Greeting]</p> <p>1 「なかよしスイッチ ON!」を確認し、特に「聞き方」を意識して友達と</p>		<p>「なかよしスイッチON!」を確認する。</p> <p>◎ 「なかよしスイッチON」を確認し、友だちと もっと仲良くなるために様々なコミュニケー</p>	<p>・「なかよしスイッチ」 をONにし、児童と積</p>

<p>あいさつをする。 ◇How are you? I'm~. Why? Because~.</p>	5	<p>シオン手段を使って交流していこうという意欲をもたせる。</p> <p>◎「なかよしスイッチ」を意識してあいさつするために、「なかよしスイッチ おしてみようカード」にシールで評価し合い、良かったところをほめ合うように指示する。</p>	<p>極的に会話をする。</p>
<p>2 曜日、教科の歌を歌う。 3 本時のめあてを発表する。</p>	3 5	<p>・教師も一緒に活動することで、楽しい雰囲気を作り出すようにする。</p> <p>・隣や近くの児童と自分のめあてを読み合うことで、友達のめあてが分かり、良さに気付く。</p> <p>◎「なかよしスイッチON!」に照らし合わせて、めあてが特に具体的になっている児童を意図的に指名して賞賛する。</p>	
<p>[Presentation&Practice]</p> <p>4 「夢の時間割」を伝え合う交流活動のやり方を確認する。</p> <p>・ALTとHRTのモデル会話を見る。</p> <p>・ALTチームとHRTチームに分かれて、一斉に夢の時間割を伝え合う練習をする。</p>	10	<p>◎交流のお手本になるように、相手の考えを引き出すような質問をしたり、なかよしスイッチON!がよく分かるような伝え方をしたりする。 (ジェスチャー、声の調子、目を見て、なかよし言葉など)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT: What do you study on Tuesday? HRT: (自分の作った時間割を見せ、指で指しながら) On Tuesday, I study science, P.E. special subject, Japanese, and music. ALT: What's this?(special subjectを指さして) HRT: Hint 1 紙 ALT: Origami? HRT: No. ALT: Hint, please. HRT: Yes. (ジェスチャーをする) ALT: Dart? HRT: No. Hint 3 (実物を見せる) ALT: Oh! Paper airplane? HRT: Yes. That's right! I study paper airplane. ALT: Why? HRT: Because I like origami. 紙飛行機は上手に折ると、遠くまで飛ぶから、いろいろ工夫して遠くまで飛ぶような紙飛行機を作りたい! ALT: Fantastic! HRT: Thank you. (終わったらメッセージシールにコメントを書く) ALT: OK. Here you are. HRT: Thank you.</p> </div> <p>・「special subject」「What's this?」「Hint, please」は聞き慣れない表現なので、繰り返し発話し、慣れるようにする。</p> <p>・モデル会話の後、HRTチームとALTチームに分かれて、隣同士で実際に会話をし、メッセージシールの交換まで行うことで、活動の方法を児童に体験的に伝える。</p>	<p>・児童の見本になるように、言葉によらないコミュニケーション手段を工夫して会話をする。</p>
<p>[Main activity]</p> <p>5 自分が考えた「夢の時間割」を、「なかよしスイッチ ON!」を意識していろいろな友達と語り合う交流活動をする。</p> <p>・隣同士で行う。</p> <p>・自由に歩き回って行う。</p> <p>・交流の最後に、メッセージ交換をする。</p>	15	<p>◎交流の初めにペアでやりとりさせることで、児童が自信をもって友達と交流できるようにする。</p> <p>・児童の様子を見て回り、活動にうまく取り組めない児童には伝え方を支援したり、励ましたりしながら一緒に活動する。</p> <p>◎途中で、自分の考えを言葉や言葉によらないコミュニケーション手段を工夫してしっかりと伝えている児童や、うなずきながら友達の話をよく聞いている児童、なかよし言葉をたくさん使っている児童、自分のめあてが達成できるように努力している児童をほめて、さらに交流への意欲を高める。また、自分のめあてをもう一度確認し、今までの交流の振り返りをさせることで、さらにめあてを意識して交流できるようにさせる。</p>	<p>・たくさんの児童に進んで声をかけ、児童が英語を使う楽しさを味わったり、自信をもって活動したりできるようにする。</p>

	<p>◎メッセージには読んだ相手がうれしくなるような励ましや、共感的な一言を書くように伝える。</p>	
<p>[Closing] 6 まとめをする。 ・友達と夢の教科を伝え合う活動を通して感じたこと、気付いたことを発表する。</p>	<p>7 ○本時のめあての達成度を振り返るだけでなく、交流を通して気付いたことや感じたこと、考えたことを伝え合い、互いの気付きや感じたことを共有できるようにする。 ○数名の児童を指名し、今日の授業の気付きを学級全体で共有する。</p>	<p>・児童の「なかよしスイッチ ON」を意識した活動に対して、「Nice」「Very good!」などの言葉やジェスチャーで児童を賞賛する。</p>
<p>◇自分が作った「夢の時間割」を気持ちを込めて伝え合う活動を通して、一人一人が思いを伝え合う喜びを感じている。(行動の観察、ワークシートへの記述)【コ】</p>		

板書計画 (Friendly wordsについては、複数箇所に掲示する。)

「夢の時間割」を 伝え合おう!

What do you study on (曜日)?

I study (教科) on (曜日).

special subject

What's this? うれしい一言メッセージ

Hint, please. メッセージシール

Why? 時間割をしっかりと見てもらおう!

心と目を合わせて相手の思いを聞こう!

たくさん質問しよう!

なかよしスイッチ

言葉	言葉以外
学習した英語 なかよし言葉	ジェスチャー 顔の表情 声の表情 声の大きさ など

ON!

なかよし言葉

【コミュニケーションを楽しむための3つのポイント】

補助黒板

あったらいいな! 夢の時間割!

What do you study on (曜日)?

I study (教科) on (曜日).

教科の絵カード

曜日の絵カード

Thank you.

ありがとう!

なかよし言葉

Friendly words

I'm sorry.

すみません。ごめんなさい。

You can do it!

あなたなら できるよ!

Do your best!

がんばって!

Good luck!

がんばって!

Please.

お願い!

Cool!

かっこいい!

Wonderful!

すばらしい!

Fantastic!

すばらしい!

That's right!

その通り!

What?

なに?

Excellent!

すばらしい!

Super!

すばらしい!

Well done.

よくできたね!

Slowly, please.

ゆっくり お願い。

OK!

いいね!

Nice!

いいね!

Great!

すごいね!

Good!

いいね!

Please tell me more.

もっと お話して!

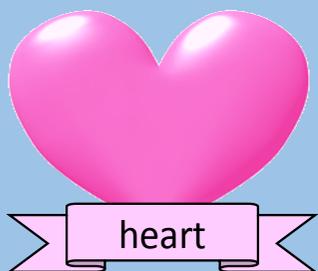
Why?

なぜ?

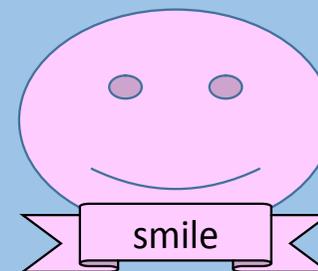
Really?

ほんとう?





コミュニケーションのポイント



Eye contact (目を見て)

Good reaction (しっかり聞いて反応)

Clear voice (聞き取りやすい声で)

時間割表

名前

What do you study on (曜日) ?

	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday
1					
2					
3					
4					
Name					

I study _____, _____, _____, and _____ on (曜日) .

自分の時間割

	月 (Mon)	火 (Tue)	水 (Wed)	木 (Thu)	金 (Fri)
1					
2					
3					
4					

「夢の時間割」を伝え合おう！

4/5時
ワークシート

Name ()

	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday
1	(例) 英				
2	家				
3	理				
4	理				
5	special subject				
6					

めあて

Special subject

伝え方を考えよう

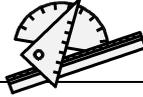


Because

～が好き。こんなことに興味がある。
将来こんなことをしたい。
こんなことが楽しみだ。…など

外国語活動 わくわくふり返りカード

5年 組

単元	あったらいいな！夢の時間割！	 
----	----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価項目	1	2	3	4	5
・積極的に声を出して話そうとした。					
・練習した英語表現を使って活動できた。					
・友達と進んで交流したり、協力して活動したりできた。					
・日本や外国のものの言い方のちがいがわかり、興味もてた。		/	/	/	/
・友達のことがよくわかった。 (考えていることなど)					

A: よくできた B: できた C: あまりできなかった

なかよし言葉を言いながら  など。

		感想 (考えたこと、気づいたこと、がんばったこと、など) <small>(口には◎○△)</small>	
1	身ぶり手ぶり(ジエスター)を使って話げできた。		身ぶり手ぶり(ジエスター)を使って話げ聞けた
	顔の表情を工夫して話げできた。		顔の表情を工夫して聞けた。
	声(大きさや表情)を工夫して話げできた。		声(大きさや表情)を工夫して話げ聞けた。
	相手になかよし言葉げ言えた。		うなずきながら話げ聞けた。
	相手の目を見て話げできた。		相手の目を見て話げ聞けた。
	はっきりとした声で話げできた。		気持ちを込めて会話げできた。
	今日の「なかよしスイッチ」		
2	身ぶり手ぶり(ジエスター)を使って話げできた。		身ぶり手ぶり(ジエスター)を使って話げ聞けた
	顔の表情を工夫して話げできた。		顔の表情を工夫して聞けた。
	声(大きさや表情)を工夫して話げできた。		声(大きさや表情)を工夫して話げ聞けた。
	相手になかよし言葉げ言えた。		うなずきながら話げ聞けた。
	相手の目を見て話げできた。		相手の目を見て話げ聞けた。
	はっきりとした声で話げできた。		気持ちを込めて会話げできた。
	今日の「なかよしスイッチ」		

3	身ぶり手ぶり(ｼﾞｽﾁｬｰ)を使って話げできた。	身ぶり手ぶり(ｼﾞｽﾁｬｰ)を使って話げ聞けた	
	顔の表情を工夫して話げできた。	顔の表情を工夫して聞けた。	
	声(大きさや表情)を工夫して話げできた。	声(大きさや表情)を工夫して話げ聞けた。	
	相手になかよし言葉げ言えた。	うなずきながら話げ聞けた。	
	相手の目を見て話げできた。	相手の目を見て話げ聞けた。	
	はっきりとした声で話げできた。	気持ちを込めて会話げできた。	
今日の「なかよしスイッチ」			
4	身ぶり手ぶり(ｼﾞｽﾁｬｰ)を使って話げできた。	身ぶり手ぶり(ｼﾞｽﾁｬｰ)を使って話げ聞けた	
	顔の表情を工夫して話げできた。	顔の表情を工夫して聞けた。	
	声(大きさや表情)を工夫して話げできた。	声(大きさや表情)を工夫して話げ聞けた。	
	相手になかよし言葉げ言えた。	うなずきながら話げ聞けた。	
	相手の目を見て話げできた。	相手の目を見て話げ聞けた。	
	はっきりとした声で話げできた。	気持ちを込めて会話げできた。	
今日の「なかよしスイッチ」			
5	身ぶり手ぶり(ｼﾞｽﾁｬｰ)を使って話げできた。	身ぶり手ぶり(ｼﾞｽﾁｬｰ)を使って話げ聞けた	
	顔の表情を工夫して話げできた。	顔の表情を工夫して聞けた。	
	声(大きさや表情)を工夫して話げできた。	声(大きさや表情)を工夫して話げ聞けた。	
	相手になかよし言葉げ言えた。	うなずきながら話げ聞けた。	
	相手の目を見て話げできた。	相手の目を見て話げ聞けた。	
	はっきりとした声で話げできた。	気持ちを込めて会話げできた。	
めあて			
